

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策担当マネージャー	生涯学習部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	山崎 正史

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	「きらり市民会館(きらりホール)」や弓道・アーチェリー場、給食センターなど新施設については円滑な運営に努め、陸上競技場や東初富テニスコートなど既存施設の老朽化に対しては計画的な修繕・改修を進めます。	③改革・改善内容	(1)学習施設の管理運営の在り方について研究、検討を行うとともに、公民館事業の積極的なPRと市民団体等の活動について支援を行います。 (2)陸上競技場の改修をはじめ、各スポーツ施設の適切な維持管理及び日本ハムファイターズと協働し、プロスポーツを活用したスポーツ教室などイベントの開催やPRの強化を図ります。 (3)市民文化活動の推進を図るため、鑑賞事業、普及事業、情報発信、創造事業、体験・協働事業等に取り組みます。また、文化財の保存・継承・活用等の推進を図り、文化財保護、国史跡の整備に取り組みます。
②①に基づく取り組み結果	「きらり市民会館(きらりホール)」や弓道・アーチェリー場については、順調に運営が行われ、利用者や来館者も増加しています。陸上競技場と東初富テニスコートについては、計画的な修繕を実施すべく、第2次実施計画に計上した内容を更に精査・検討し、第3次実施計画に計上しました。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	全ての市民がいつまでも明るく健康で暮らせる社会を実現します。
②政策の概要	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会の実現のため、生涯学習の推進、生涯スポーツ・レクリエーションの推進及び芸術文化の振興を図ります。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習活動、文化・スポーツ活動に対する意識や関心が高く、活動拠点となる施設の整備及び改修の要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26～27年度の施策の成果	平成26年度より開設した弓道・アーチェリー場については、利用者も順調に増加し、管理運営を指定管理者に移行する検討を行い、平成28年度から実施することに決定しました。								
②施策成果指標	指標名称			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値(27年度)	目標値(32年度)
	1	生涯学習をしている市民割合		%	55.1	-	-	67.0	70.0
	2	学習施設利用者数		人	311,964	291,611	310,985	385,000	400,000
	3	図書館資料貸出数		冊	410,564	400,266	408,725	435,000	450,000
	4	1年間継続してスポーツをしている市民割合(市民意識調査)		%	21.4	-	-	23.0	25.0
	5	余暇時間にスポーツを行っている市民割合(市民意識調査)		%	12.6	-	-	13.5	15.0
	6	市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数		人	1,910	1,867	1,866	2,500	2,800
	7	指定文化財数		件	31	31	31	30	32
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
14									
③政策の事業費	平成26年度決算	平成27年度決算	市民一人あたり事業費(27年度決算)	平成28年度予算					
事業費(千円)	832,713	1,062,880		10 652,605					

IV 評価・検討

①課題	老朽化した陸上競技場の改修にあたっては、多額の経費を要することから、当初計上の第2次実施計画から第3次実施計画では、内容を更に精査・検討したうえで、他の事業との優先度により先送りとなりましたが、上位大会への公式記録のとれる競技場としての整備が課題となっています。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	施策の成果指標は、いずれの指標も未だ到達していませんが、施策に係る各事業は概ね計画通り実施できました。ただし、陸上競技場や東初富テニスコートは、第3次実施計画策定において、市民の生命財産や市民生活に密着した事業を優先したことにより、先送りとなったため、事業が完了していないことから一部未達成としました。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	施策2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興		
④上記方向性の説明	老朽化した既存施設の抜本的な改修工事を実施することにより生涯スポーツの振興を図ります。		